

# 安否確認実験訓練のアンケート結果の分析

2021/11/13 IT 推進委

HP のメルマガと電話を使った安否確認を 10/16 と 11/3 に行いました。その時のアンケート結果の報告を以下に纏めました。

## 1 HP メルマガによる安否確認のアンケート結果

### 1.1 実施状況

実施日：10月16日(土) 参加者：160名、アンケート回答数：86件(回答率：54%)

### 1.2 アンケート回答状況 (回答者 86 件の結果分析)

#### (1) けがもなく安全な場所にいますか

- 安全です：100%

#### (2) ご家族の安全は確認できましたか

- 全員確認済み：94% 支援が必要な人も多分問題ない：2% その他の家族未確認：4%

#### (3) 今日の訓練を事前に知っていましたか

- 知っていて対応：15% 所要で対応不可：51% メールが来て知った：21%  
対応できず：13%

#### (4) メールを見たのは何時ですか

- 開始 30 分以内：26% 3 時間以内：30% 当日内：32% 翌日以降：12%

#### (5) あなたは外出中ですか

- 自宅または 10 分以内：72% 外出中：22% その他:6%

#### (6) あなたの所属ブロックはどちらですか

- 1~11 ブロック：99% (ほぼ均等に分散) その他 (多分会員外)：1%

#### (7) あなたは何才ですか

- 50 才未満：31% 50~65 才：35% 65~75 才：21% 75 才以上：13%

#### (8) 今回の安否確認は有意義でしたか

- 有意義：49% 無料なので良い：44% 有効とは言えない他：7%

#### (9) 安否確認は年に何回行うのが良いですか

- 年に 1 回：47% 2 回：28% 不定期に数回：24%

## (10) この安否確認を継続するのが良いですか

- 継続・拡大：64%      メール以外に電話も追加：32%      その他：4%

## (11) 従来方式の対面安否確認はどう思いますか

- 対面安否確認も訓練として継続：27%
- 近所の人と会うことが重要：26%
- 地震時の在宅比率低いので中止が良い：10%
- 高齢者が多いので中止が良い：7%
- 関係者の負担が大きいので中止が良い：27%

## (12) その他要望事項の提案

- 11件の書き込み。主なものは下記
  - 最近近所とも会わないので、対面も欲しい
  - 事前に知らないと不審メールと思う可能性もある
  - 対面訓練で非協力的な対応に心が折れたこともあるので、メールが良い
  - 予告がないと見ないので、事前案内は必要
  - 実際震災の時には飲料水等の情報もあると良い

## 1.3 メール方式の結果まとめ

- 殆どの方が、今回の安否確認を支持している。
- (6)所属ブロックや(7)年齢構成からして、今回のメルマガを使ったアンケートは会員の実態構に近いと判断できるので、紙による全会員アンケートと同等の結果を得られ、直接民主制に近い効果を確認できたのではないかと考える。
- 対面安否確認や訓練実施回数等については、電話の結果と少し異なり、2.3で議論

## 2 電話による安否確認のアンケート結果

### 2.1 実施状況

実施日：11月3日（祭日）、参加者：23名、アンケート回答数：9件（回答率：39%）  
LINE登録者は3名

### 2.2 電話の安否確認結果

途中切断の人は最後に確認ボタンの押し忘れと思われるので、実質は問題なく完了している。

- 送達確認済み：9人(39%)、      案内中の途中切断：13人(57%)、      応答なし：1人(4%)

### 2.3 アンケート回答状況（回答者9名の結果分析）

#### (1) あなたは安否確認の電話に対応できましたか

- 対応できた：67%      外出中だった：33%

#### (2) あなたは何才ですか

- 75才以上：56%、      65才以上：44%

**(3) あなたは安否確認をどれで確認しましたか**

- 電話：56% LINE：11%、 電話・LINE 両方 11%、 確認しなかった：22%

**(4) あなたは LINE の接続登録はできましたか**

- 問題なく登録できた：11%、 家族が支援：22%  
操作方法分からず：11%、 LINE 使いたくない：33%、 スマホなし：22%

**(5) 電話による安否確認は手順通りに行えましたか**

- 問題なく実施：50%、 できたが操作面倒：25%、 操作分からず他：25%

**(6) 電話の音声案内はどうでしたか**

- 問題なし：57%、 発音不明瞭：14%、 早口：29%

**(7) 今回の安否確認実験は有意義だったと思いますか**

- 有意義：33%、 無料ならあった方がよい：44% 有効ではない他：22%

**(8) 今回の安否確認は年に何回行うのが良いですか（【】内はメールの場合の値）**

- 必要ない：11%【1%】 年に1回：22%【47%】 年に2回：22%【28%】、  
不定期に実施：44%【24%】

➤ <評価> 電話の方はリアリティが高く、不定期実施の要望が高かったと言える。

**(9) 来年度もこの安否確認を継続した方が良いですか**

- 今のまま継続拡大：67% 電話使用者に限定：11% ネット他があり不要：22%

**(10) 従来方式の対面安否確認はどう思いますか（【】内はメールの場合の値）**

- 対面安否確認も訓練として継続： 0% 【27%】
- 近所の人と会うことが重要： 33% 【26%】
- 地震時の在宅比率低いので中止が良い： 11% 【19%】
- 高齢者が多いので中止が良い： 22% 【7%】
- 関係者の負担が大きいので中止が良い： 33% 【27%】

➤ <評価>

➤ 電話の場合、ベルがなるので対面と同じ効果があり、対面の支持が0%になったか

➤ 逆に高齢と関係者負担が電話の場合より身近で、中止希望が高くなったか

➤ メールの場合、通常メールと同じで、逆に言えば、訓練効果は高くないと見える。

## 2.4 まとめ

- 電話による安否確認自体は問題なく実施できた。
- LINE は、外出時や子供家族への同時通報という点で有効なサービスだが、LINE の登録方法等の点で今後のさらなる啓もうが必要
- 対面安否確認については、対面の重要性を強調する意見もあったが、3分の2は中止を要望

### 3 全体まとめと対策案の提案

#### 3.1 全体まとめ

##### (1) アンケート参加者と回答率

- 会員数約 1150 世帯に対し、メール参加 160 人で、回答率 54%は十分有意だったが、電話は 23 人で回答率 39%と、有意性では少し劣るか。

##### (2) 実験訓練に対する評価

- メールでは、無料を含め有意義だったとした回答は 9 割を越えたが、電話では 8 割弱にとどまった。

##### (3) 継続の評価

- 今回の実験方式の継続については、大半の人が継続と参加者拡大を望んだ。
- ただ電話の LINE については、参加者が少なく好意的な評価は得られなかった。
- よって、LINE はサブと考え、メインはメールとし、メールのない人のみ電話対応とするのが順当。

##### (4) 対面訓練との比較

- 会うことの重要性から継続を望んだのは、メールの場合で 26%、電話で 33%に留まった。一方関係者の負担等から中止を望んだのは、メールで 44%、電話で 66%と、中止派が優勢。

#### 3.2 今後の対応策

- メール・電話ともに参加者は継続されていたので、今後も拡大する方向で取り組んでいきます。
- メール方式については、自治会 HP (<https://higiriyama.org>) で登録方法の案内をしています。安否確認だけでなく、自治会に関するアンケート等の基本的なサービスも整備していますので、今回を機に是非ご登録して戴けるようお願いいたします。
- 一方、電話方式については、来年 3 月までに自治会全体で登録者を募集するようにいたします。

以上